

今年度の特記事項

1. 新型コロナウイルス感染症について

サービス付き高齢者向け住宅、訪問介護事業所ともに、新型コロナウイルス感染症との格闘の日々であった。残念ながら住宅利用者1名・訪問介護事業所職員1名が2022年2月に感染したため、約1カ月余り感染拡大防止対策に職員入居者一丸となって取り組み、それ以上の感染者を出すことなく終結できた。幸いなことに感染した利用者職員ともに重篤な後遺症もなく過ごされている。

2. 府中市高齢者住宅うらら多磨

サービス付き高齢者住宅居室の壁紙は開設時の業者からのリコール申請で数年前から工事を順次行っていたが、今年度の入居者入れ替えに合わせ、全居室の張替工事が終了した。

3. うらら多磨ホームヘルプサービス

医療・介護連携型サービス付き高齢者向け住宅に併設する訪問介護事業所として、入居者支援について住宅との連携が格段に進んだ1年であった。具体的には、身体的・精神的課題のある入居者への支援について、住宅コーディネーターと訪問介護事業所が心身の小さな変化の兆しに気づきを共有して、入居者間の軋轢も含め大事に至る前に対応できたことが多かった。

4. 3か年計画最終年のまとめ

2018年～2021年の3か年計画では、訪問介護事業所は「要介護から総合事業対象者までどなたでも在宅生活が伸長できるように」住宅は「身寄りのない方でも、家族背景の薄い方でも住み慣れた府中で生活できるように」と社会福祉法人が行う、医療介護連携型サービス付き高齢者向け住宅としての役割を果たすことを目的として事業実施してきた。2021年12月にちょうど開設から10年目を満室で迎えた。この間、延べ入居者40人。うち、市内法人3特養に入居された方11人。無償貸与の市有地について、次の10年間の継続貸与期間にも入り、これからも変わらない事業継続を目指していく。